



・「北海道開発の将来展望に関する有識者懇談会」(座長 田村亨・北海道大学大学院教授)は、中長期的(おおむね2050年頃まで)に目指すべき北海道の将来像や、その実現に向けた取組戦略の方向性について検討。

1. 我が国をめぐる長期的な潮流と課題

- 人口急減・超高齢化
- 大規模災害の切迫
- 世界の人口、食料、エネルギー需要の増加などの国際環境の変化

課題

- ・人口減少克服・地方創生の取組
- ・食料・エネルギー安全保障の確保 等

2. 北海道の人口経済と新たな政策課題の動向

- 北海道の人口構造・産業経済の課題
 - ・全国に先んじて進む人口構造の変化による、経済活動の著しい低下、地域そのものの崩壊が懸念
 - ・人口構造の変化に対応した持続的・安定的経済の確立 等
- 新たな政策課題と北海道開発
 - ・農林水産業の成長産業化
 - ・観光立国の実現 等

3. 北海道開発を考える視点 —長期的・グローバルな視点では何が価値を持つか

- 食料供給力、広大な土地、豊富な資源・エネルギー
- 北の優位性 ○雪や寒さが強みに
- 地域条件の見方—リスク分散・技術革新
- 多様な豊かさの実現
- 北海道の固有性—文化・歴史・技術

4. 目指すべき北海道の将来像

○食と観光で世界水準の価値創造

- ・食関連産業の革新が実現し、北海道が我が国の食と農業の中心となっている
- ・世界に評価される観光地となり、観光が稼ぐ基幹産業となっている

○脆弱な国土構造の改善への貢献

- ・国家的規模の災害に備えた機能分散や体制整備が強化され、災害発生時に役立っている
- ・エネルギーの安定供給体制の強靱化に北海道が役割を担っている

○国内外の多様性と連携により生み出される対流の創出

- ・北海道の固有性を活かした世界とのつながりが形成されている
- ・地域資源で”稼ぐ地域”や、交流・協働人口の増加により活力を創出している地域など、人口減少の克服に向けた元気な地域が北海道の各地に形成されている

○安全・安心な社会基盤の確立による快適な北国の暮らし

- ・住民生活や事業活動を支える安全・安心な社会基盤が確立し、特に冬の生活・事業環境が向上し、快適な北国の暮らしが実現している

5. 目指すべき北海道の将来像による国の課題解決への貢献(北海道開発の意義)

○多様で活力ある持続可能な地域社会モデルの提示

○我が国の安定性への寄与

○多様な価値観が共生し活力ある社会を形成する共生社会の実現

6. 効果的な計画推進のための取組戦略

○広域分散等の特性を踏まえた地域構造の形成

○北海道開発を推進する人材の育成・活用とプラットフォーム等の体制構築

○圏域間や道外他ブロックとの連携と自律的な地域運営等の促進

○地域と協働したインフラのマネジメントの推進

○2020年に北海道の魅力を世界に発信